

エコマーク



エコマーク 平成元年に環境庁(現、環境省)が、環境保全に役立つ商品に表示するエコマーク制度を開始しました。このときに「ちきゅうにやさしい」を共通テーマとして作られたマークです。現在、エコープマーク品を始め、多くの商品についています。

リサイクルマークのいろいろ

リサイクルマークはつぎのようにいろいろあります。ゴミ分別の時の参考にしてください。



「プラスチック」マーク
PETボトル以外の全てのプラスチックを容器包装に使用するときに表示が法律で義務づけられています。PETボトルとの併用がありますので注意が必要です。エコープマーク品については材質名の表示は、分かり易くするために原則としてカタカナ表記をするようにしています。



「紙」マーク
紙を容器包装に使用するときに表示が法律で義務づけられています。紙パックマークとの区別が必要です。



「PETボトル」マーク
ポリエチレンテレフタレート(通称PET)製のボトルで中身が飲料・お酒(ビールや酎ハイなど)・醤油・食酢などのときに、ボトルに表示されることが義務づけられています。



「スチール」マーク
スチール製の缶で中身が飲料(清涼飲料水や炭酸飲料など)やお酒(ビールや酎ハイなど)のときに、缶に表示することが法律で義務づけられています。



「アルミ」マーク
アルミ製の缶で中身が飲料(清涼飲料水や炭酸飲料など)やお酒(ビールや酎ハイなど)のときに、缶に表示することが法律で義務づけられています。



「紙パック」マーク
牛乳やジュースなど、パルプ紙だけで作られている紙パックに付けられているマークです。他のマークと違い現在のところ任意でつけられています。

フード・マイレージ

フード・マイレージとは、英国の消費者運動家ティム・ラングが1994年から提唱している概念(“Food Miles”)で、生産地から食卓までの距離が短い食料を食べた方が輸送に伴う環境への負荷が少ないであろうという仮説を前提として考え出されたものです。具体的には、「食料の重量」と「輸送距離」を乗じたもので、この値が大きいほど地球環境への負荷が大きいという考えです。

日本には「地産地消」という考え方がありますが、フード・マイレージは、このような考え方を数量的に裏付けるものと考えられます。

参考:農林水産省ホームページ(消費者の部屋)より

ペットボトル15本でブレザー1着

ペットボトルの85%がリサイクル可能です。1.5Lのペット15本でポリエステル70%のブレザー1着ができます。

古紙1トンで立木20本分に相当

古紙1トンから約850kgのパルプができますが、この量のパルプを木材から作るとすると、高さ8m、直径14cmの立木が20本も必要です。しかも、この大きさに木が育つまでには20年以上はかかるといわれています。古紙を資源として利用することは、こうした木を守ることになるのです。

家庭ですぐできる環境活動 ～一人ひとりが身近なところから～

エネルギーを上手に使う

- ・テレビやビデオは、見ていないときなどはコンセントをぬく。
- ・エアコンの温度設定を省エネ温度にする。(夏は28度、冬は20度)
- ・冷蔵庫の中は詰め込みすぎないようにし、冷気の循環に注意する。
- ・アイドリングストップにこころがける。

水を汚さず、うまく使う

- ・油や調理くずを流さない。
- ・洗濯用せっけん・洗剤、台所洗剤、シャンプーなどを表示された使用量のとおりに使う。

資源を節約し、ごみを減らそう

- ・買い物にマイバックを持って行く。
- ・余分な包装は、お店の人が包装し始める前に断わる。
- ・缶、ビン、ペットボトルなどを決められたとおり分別して、指定の収集日に出す。
- ・紙類、衣類、廃食油を決められたとおり分別して、指定の収集日に出す。
- ・食べ残しを減らす。

その他

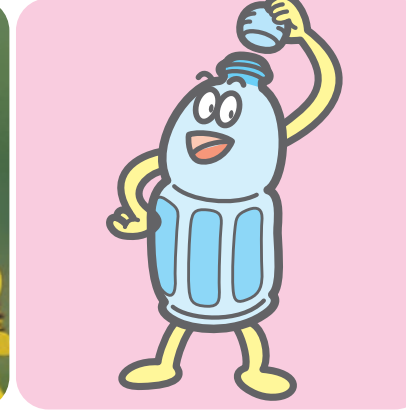
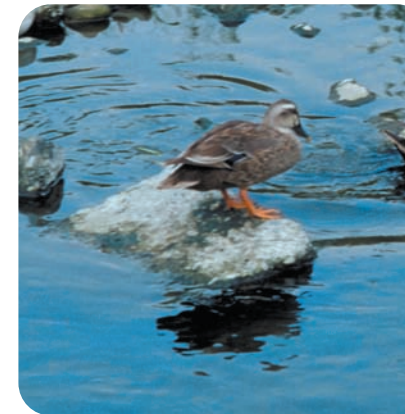
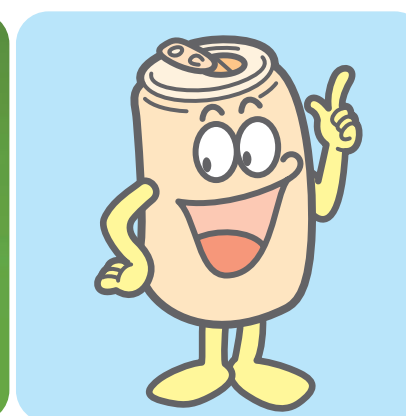
- ・最低限のマナーとして、タバコやごみのポイ捨てはしない。
- ・身近な地域の緑化活動等に参加する。



エコープマーク品 くらしと知識③

3

エコープマーク品 ー環境への配慮、くらしの良品ー



JA全農 くらし支援事業部

〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1
TEL 03-6271-8355 FAX 03-5218-2547

エコープマーク品ホームページ アドレス <https://www.zennoh.or.jp/acoop>

JA全農 くらし支援事業部 商品管理室

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡4-18-1
TEL 0463-22-1035 FAX 0463-22-1643

エコープマーク品は JA グループの商品です。

全農

JA | JA全農グループ

環境に配慮したエコープマーク品

環境問題は、地球規模の大きなテーマです。

エコープマーク品は、環境に配慮した商品を開発の重要なポイントとして位置づけています。

また、すでに開発した商品についても、環境への負荷を考慮して見直しを進めています。

地球規模で考え、地域で、家庭で積極的に行動をしましょう。

水質、土壌の汚染を防ぐ

○ゴミを流さない

家庭のゴミを直接川や海に流しません。

- エコープ水切ゴミ袋（三角コーナー用・排水口用）



①ゴミ（一般廃棄物）の総排出量は年間4,800万トンを超え、一人一日あたり約1,000gを出していることとなります。
②この内約70%が、家庭からでる生活系のゴミで、一人一日あたりでは約730gになります。家庭ゴミの約60%は容器・包装（容積比）。重量比でも約20%になります。

「環境省調査（平成20年度）による」

大気の汚染を防ぐ

○有害ガスを出さない

焼却しても人体に有害なダイオキシンや塩素ガスが発生しない材質を用いています。

- エコープポリエチレンラップ（非塩ビ系）



森林、自然を守る。省資源

○再生紙の利用

古紙を再生利用し、森林資源を守ります。

- エコープちり紙
- エコープトイレットロール



○無駄を省きごみを減らす

中芯をなくしたトイレットロールで余分なごみを減らします。

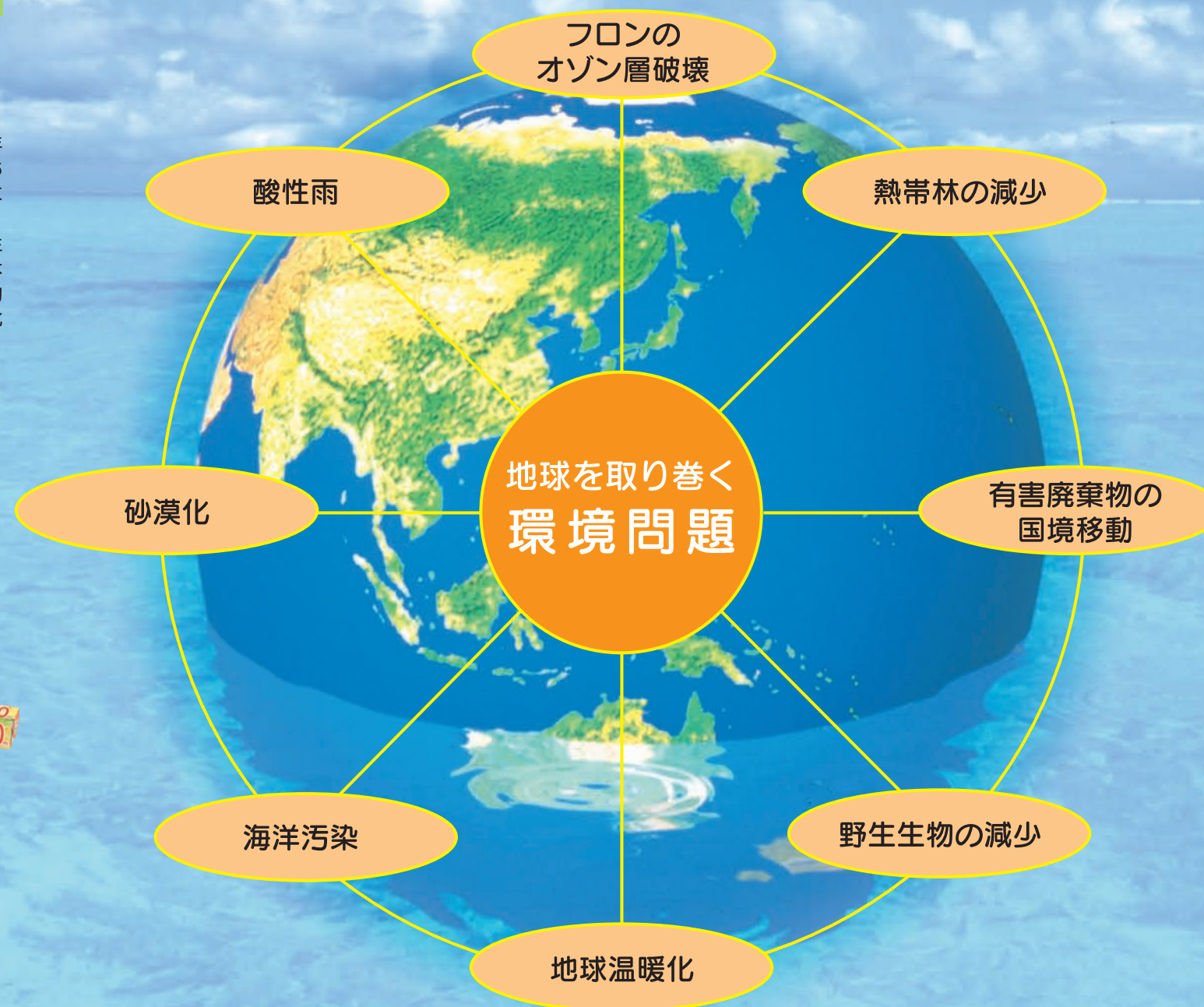
- エコープ 芯なしロール
- エコープ 紙管なしロール



○省資源（詰め替え）

詰め替え用商品の開発で容器の省資源を実現します。

- エコープわかくさティッシュ（詰替用）
- エコープ味付塩こしょう（詰替用）



過去100年間で、地球表面の平均気温は約0.6度、海面は10～25cm上昇しています（気象庁による）。原因の第1は二酸化炭素の排出量増加です。

※掲載商品は地域によって取扱いしていない場合もあります。